

事業所自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも言えな	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇の時は、利用者も多く、狭いと感じることがあり、危ないと思うことがあった。 ・利用人数に合わせ、部屋の数を変え、使用目的もそれぞれの部屋にあり、良いと思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用キャンセルがあった場合は、職員配置の見直しをその都度行なっている。
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・音に敏感・苦手なお子様、ご利用者に対して、部屋を別にすることができても声などは聞こえているので、環境調整ができているのかと思うことがある。部屋を分けることで職員の配置も変わってくる。 ・椅子、ロッカー、靴箱などの名札をイラストの子や文字のみにするなど子どもに合わせ工夫をしている。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔感もあり、掃除も行き届いていると思う。冬場や夏場はホール内から廊下、トイレに行くと温度差を感じる。環境調整されているので安全だと思う。 ・熱がこもりやすい子どもなど、それぞれの子どもに合わせ室温調整を行っている。 ・常に清潔を心がけている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職種のスタッフから意見をもらい業務改善に努めている。 ・関わっているスタッフ間で話したり、意見を聞いて行うようにしている。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望に沿って支援をしているので、保護者からの信頼は厚いと思う。
	7	事業所向け評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	2	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援：アドバイスを活かし、プログラムに変更を加えた。（歌、楽器を増やすなど）
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修が土曜日が多く、勤務のため参加できないことがある ・以前に比べ減ってしまった。可能ならば増やしてほしい。 ・業務中の会話の中で話は行うも、集団での学習の機会が少ない。 ・前年に比べると減ったが、必要に応じて研修を行っている。

適切な支援の提	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種が一同で話をする機会が少ない ・専門分野でない部分に関しては、他職員に相談しアセスメントを行なっている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3	6	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	0	1	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間の中で頑張っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画を立てる職員が1人で考えず、他スタッフにも相談、アイデアを聴きながら行っている。 ・季節の行事がある時はチームで話し合いを行うが、チームが揃って話し合う時間をもっと増やしたい。 ・リハビリ活動は毎月一覧表を作っているが、十分に浸透させることができていない。 ・一ヶ月の内容をチームで話し合い、日々の活動に関してはリーダーを中心に行っている。 ・全てではないが、節分、正月、クリスマスなど季節ごとのイベントや製作などについては話をして決めている。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも楽しく参加できていると思う。製作や運動面などでも、子どもも職員間も笑顔で取り組んでいる。 ・各リーダーがプログラム内容を記入し、ファイルに綴じてあるので、類似した内容を避けることができています。 ・月ごとにカレンダーに活動内容を書き出しているので当月や先月のプログラムを見て、運動や製作、ルール遊びなどバランスよく組んでいる。また、子供達の特性によって色々なないようにしたり、同じことを繰り返したりしている。 ・マッサージやサーキットは毎回同じ流れで行なっているが、その日の活動についてはゲームをしたり、製作をしたり楽しめるよう工夫をしている。 ・その時の季節に合った活動を取り入れ、マンネリ化しないよう、心掛けている。 ・活動リーダーでレクリエーションなどを考える際、毎回違うものにして楽しんでいる。 	

16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を考える時は、子供達の状況や特性に合わせて、個別や集団を考えるが、計画には組み込まれていない場合が多い。 ・自由時間には児の支援計画に沿って、個別にかかわるよう心掛けている。 ・支援計画に具体的な記載はないものの、活動においては様々なタイプとの取り組みができていていると思われる。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に打ち合わせできていない。自分がリーダーの時は時間を見つけて、他の職員と確認を行うようにしたい。その為にも余裕を持って支援内容を決めておくようにする。 ・以前は毎朝、昨日の報告と本日の確認が関係スタッフ全員で行っていたが、現在は行えていない。1人の発言を全員で聞いている為、解釈に差が生じにくかった。 ・毎回ではないが、前日に翌日の活動について確認を行なっている。 ・必ずではない。いつもと変わったことをする場合は、事前に確認したり、お願いしたりするが、慣れている内容などについてはその都度伝えたりしながら行うことも。 ・支援内容についての確認が不足している。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は支援後に全員で振り返りができていたが、今は揃わずできていない。空いている時間に自分から気づきなどをそれぞれ確認していきたい。 ・振り返りなどは行うも、全スタッフではない。以前は前日の報告、当日の確認を関係スタッフ全員で行っていた。 ・必ずはできていないが、送迎中や記録を書くときに伝え合っている。 ・必ずではないが、気づいた点など、他職種に伝達するよう心掛けている。 ・毎回必ずできてはいないが、支援内容、活動内容で気付いた点は伝えるようにしている。 ・朝のミーティングのノート以外に勤務終了後に記録とは別に、変更や電話での問い合わせなど職員で共有するノートがあると、前日が休日の職員でも把握しやすいと思う。
19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・問題提議、問題解決としてのコメントを心がけるべきではないか ・支援を行なったその日に必ず記録を行っている。 ・日誌への記載にて対応している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回行っている。 ・モニタリングには取り組んでいるが、見直しには至っていない。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達管理責任者もしくは担当者が参画している。

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	5	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っている。 ・PT/STを招いて指導をもらったり、学校見学など普段の様子や共通認識を持つよう取り組んでいる。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・重症のお子様は密に連絡を取り合っている。医療処置については、主治医に指示書を書いていただき、それに従って処置している。 ・医療ケア指示書の見直しや対応の確認など把握するよう心掛けている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等と連絡体制を整えているか	7	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の直接的な支援ではないが、交流保育を行うことで、保育園側に医療的ケア児についてなどの理解を深めてもらう、どんな子供たちがいるのかを知っておらうことにはつながっていると思う。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の利用に関しては良いと思うが、支援計画に関しては不十分と思われる。 ・入学前に対象となる子どもさんの様子を学校の先生に見に来て頂き、情報の共有を行っている。 ・小学生になる時に情報提供書を作成する。
	27	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に活動内容を見てもらい、上限いただいた。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の都合や利用時の体調などにより年間計画通りにはいかなかったが、交流保育で一緒に過ごす事が出来た。 ・希望者のみ交流保育を実施。
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	6	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や面談を通して行なっている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	5	6	※平成29年度より施設対象児の変更に伴い、廃止。
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	0	0	
		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべ				<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインについては保護者に示していなかった。

保護者への説明責任等	33	き支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	2	2	・計画書にガイドラインについて示しているが、計画書の説明をする際、ガイドラインについて詳しく説明したりはしていない。計画書には目標、支援内容などを説明し、同意をいただいている。
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	1	0	・関わる職員が、介助方法や悩みなどに直ぐに対応し、助言や話しを共感してもらえるだけでも、保護者の気持ちや負担は軽くなっていると思う。 ・機会はあっても十分な時間ではないと感じる ・面談や担当者会議などの時に相談があれば対応している。 ・面談の際に困っている事、悩んでいることを尋ねた、なるべくその場で助言など行なっているが、場合によってはスタッフと相談し、助言することもある。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	0	1	・定期的に、保護者同士の交流、茶話会などの回数を増やすと、同じ悩みの共有ができたり、ストレス発散ができると思う。話す相手がいるだけでも違うと思う。 ・保護者会やお祭り、ヨガ教室、療育参観など父母の交流の場を設けている。 ・療育参観の際に、保護者同士で話せる機会を作っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	2	・利用日の希望、送迎など保護者の希望に沿っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	2	・ホームページで様子などを知らせている。 ・月に一度、ホームページにて活動内容や様子を継続して載せていきたい。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	10	0	1	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	0	0	・子供にはわかりやすく見てわかるようにして示しながら話したり、保護者とも会える方は会って話し、会えない方は文章や電話などでやり取りしている。 ・どの職員も子ども、利用者の意思を尊重し、行動している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	3	1	・秋祭りに招待し、事業所の様子を見ていただいた。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	3	2	・防犯マニュアルは作っているが、発生を想定した訓練は行っていない。 ・消防訓練は、定期的に行なっている。ホームページにて訓練の様子も確認できる。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	0	

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	9	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・不十分さを感じる。 ・看護師以外が何の薬なのか把握できていない。看護師任せになっているところがある。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の際のネームプレートにアレルギーを記載している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットをしていない職員でも、事例集を作成することで事故・ケガなどわかるので、未然に防止、予防できる
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行い、虐待防止に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の安全について説明した上で、了承を得ている。 ・ファンファンチェアやクッションチェアに座らせて拘束し、安全を優先してもストッパーがかかっている時があるので、万が一ケガをした時に保護者からは、不信感があるだけだと思う。

週30時間以上勤務の常勤10名に実施

回収率100%